

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

2020年3月	
公益社団法人自動車技術会関東支部2019年度学術研究講演会	
モード試験と実路試験による乗用車の燃費に関する研究（第2報）ハイブリッド車の実路燃費	
○魏嘉奇※、賈 昊林※、阿部良治（元株式会社本田技術研究所）、加藤彰	
	<p>自動車の燃費と排出ガスについては、国や地域ごとに定められた手法、例えば日本であればJC08モードやWLTC(Worldwide-harmonized Light vehicles Test Cycle)モードなどの走行モードに合わせて、屋内のシャシダイナモメータ(以下CD)を用いて計測し、CO, HC, および NOxなどの排出ガスを規制値に適合させることが各国の法律で定められており、その規制基準は年々厳しくなっている。CO2排出は自動車の燃費に反比例するため、一般ユーザーの関心も非常に高く、実路における燃費および排出ガスの研究事例も多い。しかしながら、各種のモード試験と実路における燃費を計測し比較検討した研究は少ない。したがってモード試験と実路試験の燃費の差異とその原因を解析し、加えて実路におけるCO2排出低減への対策手法を提示することを本研究の目的とする。昨年はガソリン車を用いて試験を行い、今年はハイブリッド車(以下HV車)を用いて試験を行った。この研究は競輪の補助を受けて実施しました。</p>